



2014年5月14日

## 富士重工業 人とくるまのテクノロジー展 2014 出展

富士重工業は、5月21日～23日にパシフィコ横浜で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2014」(主催:公益社団法人自動車技術会)に出展し、4月に発表した新型スポーツツアラー「LEVORG(レヴォーグ)」をはじめ、新開発となる「1.6ℓ 水平対向直噴ターボ“DIT”エンジン」の実機(カットモデル)や「アイサイト(ver.3)」の特徴や機能を解説する動画、パネルにより、スバルの最新技術を紹介します。

### <出展内容>

#### ◆「LEVORG(レヴォーグ)」

レヴォーグは、デザイン、パッケージング、走行性能、環境性能、安全性能といったクルマに求められるあらゆる領域での価値を、高次元で融合することによって、お客様の期待を超え、「レヴォーグというクルマを所有する喜び」を提供することを目指し開発しました。

新開発となる「1.6ℓ 水平対向直噴ターボ“DIT”エンジン」や「アイサイト(ver.3)」といったスバルの最新技術と、長年培ってきた「安心して楽しい」クルマづくりのノウハウを注ぎ込んだ、新世代のスバルを具現化した新型スポーツツアラーです。

#### ◆「アイサイト(ver.3)」

より広角かつ遠方まで捕捉し、カラー認識も実現した新ステレオカメラを採用。ステアリングへの制御も可能とすることで、先進安全機能を大幅に進化させた「アイサイト(ver.3)」を新開発しました。プリクラッシュブレーキや全車速追従機能付クルーズコントロールの性能向上に加え、アクティブブレーキやAT誤後進抑制制御、ブレーキランプ認識制御などの新機能により、先進の予防安全を実現します。

#### ◆「1.6ℓ 水平対向直噴ターボ“DIT”エンジン」

小排気量エンジンと直噴ターボの組み合わせにより、軽快な走りの楽しさと優れた燃費性能を両立した「1.6ℓ 水平対向直噴ターボ“DIT”エンジン」を新開発。緻密なノッキング制御を行うことでレギュラーガソリン仕様でありながら、高い圧縮比を実現。さらに、スバル初となる「直噴ターボ+アイドリングストップ」を採用することで、より高い燃費性能を実現します。

